

会議参加費 領収書

小 森 隆 一 様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10 月 17 日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会 長 清 元 秀 泰

領 収 書

小森 隆一 様

¥ 1 , 0 0 0 -

ただし、両毛六市議員懇談会研修会出席者負担金として領収いたしました。

令和7年1月20日

両毛六市議員懇談会

会 長 山之内 肇

領 収 書

小 森 隆 一 様

¥ 1 , 0 0 0 -

ただし、両毛六市議会議長会議員研修会負担金として
上記金額を領収いたしました。

令和7年1月23日

両毛六市議会議長会会長

佐野市議会議長 川 嶋 嘉 一

◇研修会名：第86回全国都市問題会議

◇日 程：令和6年10月17日（木）～18日（金）

◇場 所：アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）

◇研修内容

【テーマ】健康づくりとまちづくり ～市民の一生に寄り添う都市政策～

- ①今回の会議の目指すところ3つの論点
- ②これまでの「健康づくり政策」を振り返る
- ③自治体は住民の健康づくりにどう貢献できるのか
- ④こんごの「健康づくり政策」における課題と方策
- ⑤新たな時代の「健康づくりとまちづくり」を考える

○第1日

1. 開会式

2. 基調講演

「生命を捉えなおす ～動的平衡の視点から～」

生物学者、青山学院大学教授 福岡伸一 氏

・生命とは部品からなりたっている分子機械ではなく、部品自体のダイナミックな分会と合成の流れの中にたゆたう（ゆれる）”分子の淀み”である。自らを積極的に壊しつづけることによって、系内にたまるエントロピーを捨て続け、またそれを作り直すことでなんとかバランスを保っている。それが生命体の特性である。これを「動的平衡」と呼ぶ。動的平衡の生命観は、私たちの身体が、時間の関数として絶えず変換しつつ、それでいて柔軟で、適応的で、補完的であり、同時にレジリエント（困難やストレスに対して柔軟に対応し、回復する力）なものであることを説明してくれる。ポストコロナの生命哲学として、重要な視点である。

3. 主報告

「市民の「LIFE」（命・くらし・一生）守り支える姫路の健康づくりとまちづくり」

兵庫県姫路市長 清元秀泰 氏

（1）人生100年時代の到来へ～健康づくりの重要性～

①健康がまちの活力を生む

（2）健康づくりに資する姫路市の取組み

①市民による主体的な介護予防を促進

②ウォーカブル（居心地が良く歩きたくなるまちなか）なまちづくり

③ICTを活用した健康づくり

・マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化

「ひめじポイントを活用した健康づくりの促進

④未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援

4. 一般報告

「生き物から学ぶ健康なまちづくり」

筑波大学システム情報系教授 谷口 守 氏

（1）市民の健康づくりに関するまちづくりの重要性

（2）バイオミメティクス（生物模倣）への展開

・何かを生き物にたとえるという「生物模倣」の取組みは「バイオミメティクス」と総称され、都市を生き物として捉え、都市計画等を考えていく必要がある。

(3) 都市は病気？

・特に市民の健康にも直結すると考えられる都市の「生活習慣病」に関連するようなトピックを紹介

①循環不全

- ・生命体を支えるのは体中に張り巡らされた血液とそれを導く血管のネットワークである。
- ・交通ネットワークの問題

②肥満

- ・人口減少に伴い都市は人口などの規模に応じて公共交通と歩ける範囲でコンパクト化

③骨粗しょう症

・空き家や空地が増え、都市がスカスカになっていく問題→「寝たきり都市」にならない対策が必要

④がん

- ・都市に超高層ビルが立っていると望ましいコンパクトな都市のように錯覚してしまう

(4) 競争から協調へ

・競争を促進するのではなく、周囲と協調しながら都市構造の対し改善を図っていくことが、現在の各市町村に求められている健康まちづくりの本質である。

5. 一般報告

「都市そのものを健康にするまちづくり～ストレスを軽減し、リフレッシュできるまちへ～」

千葉県流山市長 井崎義治 氏

- ・環境価値・景観価値を高める「グリーンチェーン制度と認定制度」

6. 一般報告

「IT/AI の健康分野への適用例 ～姫路市の健診データ解析と歌唱による誤嚥予防～」

兵庫県立大学副学長 畑 豊氏

(1) 健診データを用いた解析について

①ファジィ論理による健診データ評価と解析結果

- ・ファジィ値を使用することで、日本人全体の健診基準を用いた健康状態を観察できる

②ファジィ統合検査指数の導入

- ・個々人の健診結果の視覚化にも役立つ

(2) AI による嚥下解析とその歌唱による誤嚥への挑戦

- ・歌唱による誤嚥対策効果がデータで認められる

○第2日

1. パネルディスカッション

【テーマ】健康づくりとまちづくり ～市民の一生に寄り添う都市政策～

【コーディネーター】 中央大学法学部教授 宮本太郎 氏

【パネリスト】 高岡病院自動精神科医 三木崇弘 氏

NP0 法人日本栄養パトネット理事長 奥村圭子 氏

長野県茅野市長 今井 敦 氏

大阪府泉大津市長 南出賢一 氏

2. 行政視察

「最先端研究基盤施設」視察コース

(1) 揖保乃糸資料館 そうめんの里 視察

- ・揖保乃糸 資料館「そうめんの里」は西播磨地域の伝統産業であり、全国各地で親しまれてい

る手延べそうめんの伝統のわざと味わいを体験できる施設である。

(2) SPriing-8<SACLA> 視察

・ SPriing-8 (Super Photon ring-8 GeV) は、播磨科学公園都市内にある位置する大型放射光施設である。

・ SACLA (さくら、SPriing-8 Angstrom Compact Free Electron Laser) は、播磨科学公園都市内にあるX線自由電子レーザー (XFEL) である。日本初のまた、米国の次いで世界で2番目に建設されたXFEL施設である。大型放射光施設SPriing-8に隣接し、実験設備の一部をSPriing-8と共用している。SPriing-8とともに、「特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律」に云う特定放射施設である。

◇所感

・ 今回、第86回全国都市問題会議「健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～」に参加させていただき、①自治体は住民の健康づくりにどう貢献できるか②今後の「健康づくり政策」における課題と方策③新たな時代の「健康づくりとまちづくり」をどのように考えていったらよいか等の点について思索、行動、提案する上で、大変有益な会議でありました。

また、先進的事例の行政視察も大変興味深く、間違いなく地域の働く場所として大きな役目を担っている事がわかりました。

・ 本会議について、次年度は宇都宮で開催される予定ですので、また参加させていただき、さらに学んでいきたいと思います。

以上